

【令和元年度本原小学校 学校評価 保護者アンケートの自由記述欄】

「お感じのこと、学校に伝えたいこと」について

2学期がスタートし、子どもたちの元気な声が響き、活気ある学校生活が始まりました。

さて、一学期末には、学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。自由記述欄「お感じのこと、学校に伝えたいこと」につきまして、抜粋ですがご紹介します。

- ・担任の先生は、一人一人丁寧に対応してくれ安心して学校に行かせられます。いつもありがとうございます。
- ・本原小学校の児童は挨拶がとても気持ちよくできていると思います。これからも気持ちの良い挨拶ができるよう続けてほしい。
- ・音楽会、どの学年も素晴らしかったです。音楽会が終わった後のやりきったいい表情の子どもたちをみると大事な経験をさせていただいたのだなと改めて感じました。
- ・温かい心のこもったおいしい給食ありがとうございます。

→多くのうれしいご意見をいただいております。学校としても励みになります。ありがとうございます。

次に、ご指摘いただいた内容と今後の対応について、以下によりお知らせいたします。すべてのご意見については触れられませんが、ご容赦願います。

<学校運営について>

- ・特にこれという子どもたちのために、と感じる活動がされているようには見うけられないように思う。
- ・私も含めコミュニケーションが足りないような気がする。子どもたちの姿を見て、大人たちも学ばなければいけないと思う。
- ・クラスの子が悲しい思いをする事件があった。「学年が上がるごとにエスカレートしていかなければいけない」と心配する気持ちがある。
- ・もう少し障がいのある子への思いやりや声がけなどを子どもたちが考えてくれる機会があればと思う。
- ・いじめに関する授業を定期的に行ってほしい。

→ 学校教育目標「なかよく・たくましく・考えて」を達成するために、子どもたちが充実した学校生活を送れるよう、日々の授業の充実を大切に今後も考えていきたいと思っています。そのために、コミュニケーション能力を高められるような授業構造の工夫や、思いやりの心を育てるための学習活動の充実をはかっていきたいと思っています。子どもたちにとって、全ての経験が学びになるよう、温かい声がけや支援を大切にしていきたいと考えています。

<学校生活について>

- ・今の子どもたちは外で進んで挨拶するのが少ないとすごく感じる。自分の子どもころから思うと残念。これから生きていく上で挨拶は必要であると思う。
- ・キャラクターの鉛筆・黒い消しゴムがダメと決まっているようだが、子どもから「なぜダメなのか」と聞かれてもしっかりとした答えを与えてあげることができない。勉強するにあたり鉛筆に絵があってもなくても変わりはないと思う。盗まれる等の問題があるとしたら、学校で、子どもたちにちゃんと説明をしてあげて欲しい。大人の一方的な「ダメ」は子どもたちにはモヤモヤした気持ちが残ってしまう気がする。

→挨拶は、非常に大切な事であると考えています。挨拶のあふれる学校になるようまずは大人が良いモデルを示して挨拶を励行していきたいと思っています。家庭や地域でも気持ちの良い挨拶が行き交うよう、ご支援をお願いいたします。また、子どもたちの持ち物について学校では、できる限りシンプルで使いやすい物を使用させたいと考えております。そこで、学習に集中できる環境になるよう学校でも子どもたちに指導していきたいと思っています。各家庭でもご指導よろしくをお願いいたします。

<学校行事について>

- ・春の遠足がなくて残念。なかなか今の時代昔ほど外で遊ぶことがないので、体力の低下がすごく気になる。遠足などで少しでも体力をつけてもらいたい。
- ・今年のプールはなぜ2学期でなくなってしまったのですか？熱中症関係ですか？130周年や運動会の関係ですか？子どもたちもなかなかプールに入れず残念がっている。保護者にも説明してもらえると良かった。
- ・夏休みのプールはやめて欲しい。(あまりに暑く熱中症になりそうなので)
- ・プレゼンタイム復活したら良いと思う。
- ・130周年記念の事も、今年からでなく昨年くらいから明確にして欲しいと思った。運動会も保護者にアンケートをとるなどした方が良い(昼ご飯とかをどうするか)。それか昨年時点でいってもらえれば「なんで？」と疑問に思うことがなかったと思う。

→今年、行事の変更に関して昨年度中にお知らせできず、疑問を感じられた保護者の方々がいらっしまったことに関してお詫びいたします。今後、変更する内容に関しては、できる限り前年度のうちに説明するようにしていきたいと思えます。
また、来年度の行事については、今年度の反省を活かし学習指導要領に示されている内容に沿って、すべての学校生活を考慮しながら考えていきます。

<「紡ぐ」について>

- ・「紡ぐ」は上田市全体でやっている事、中学へ行っても必ず書いて提出している。日記の部分は、やらなくて良い(書かなくて良い)としているのは疑問を感じる。2~3日に一度、原稿用紙での日記はあるが、毎日書く習慣をつけた方が良いのでは…。

→5. 6年生は毎日、「紡ぐ」のふり返り部分を書くように指導していきます。子どもたちが書いたものについてはできる限りコメントを返し、書くことの良さを伝えていきたいのですが、本原小学校では、ほぼすべての授業を担当が受け持っており、読むことはできても全員に毎日コメントを書く時間が確保できない現状があります。そこで、子どもたちが書いたものには必ず目を通してサインをし、1週間に1回以上のコメントを記入するという形で取り組ませていただきたいと思います。

<情報発信について>

- ・学外テストの結果が分かりづらくあまり参考にならない。
- ・月行事予定表の下校欄に時刻が複数書いてあるが分かりにくい。
- ・HPの更新が少ないように感じる。忙しいかと思うが、子どもたちの様子を知るためにも更新をお願いしたい。
- ・電話連絡網は緊急時のみにしていただきたい。

→保護者の皆様分かりやすく、正確な情報をお伝えできるように工夫をしていきたいと思えます。また、学校の子どもの様子をこまめにご連絡できるように努力していきます。

<職員の指導のあり方について>

- ・子どもの対応が丁寧でないと感じる。
- ・子どもに使っていけないと教えている言葉づかいを担当の先生はしている。子どもが疑問に思っている。
- ・学校行事に参加した際、先生方からの挨拶や説明などがほとんどなく驚いた。

→教職員の不適切な言動があったことについては、深くお詫びいたします。今後、教職員は良いモデルになり子どもたちが安全に明るく元気に学校生活を送れるように努めます。また、今後も何か気になることがありましたら学校へご連絡いただきますようお願い申し上げます。

貴重なご意見をたくさんいただき感謝申し上げます。今後とも本原小学校の子どもたちのために充実した教育活動ができますようご協力をよろしく願いいたします。